

今年も豊かな
三島の農産物

みしま

生産者の想いが
詰まっています。



2011

11

特集 風評に負けない

広報みしま No. 224

特集 風評に負けない

3月11日の東日本大震災発生から8カ月が過ぎようとしています。

東京電力福島第一原発の事故による放射能汚染と風評被害は、
収束のめどが全くたたず、農業や観光などあらゆる業界に
影響を及ぼしています。

たばこは作付け中止、順調に実った稲にも風評がのしかかります。

観光客は減少し、町の経済状況も悪化しています。

事業者の方々は必死に風評と闘っています。

写真／稲刈りをする小松正信さん（西方）

豊作だった今年の米。秋晴れの空に黄金色に輝く稲穂。見た目はいつもの稲の実りと何も変わりません。しかし、震災と原発事故の影響で、国内は大きく混乱しています。春、作付けの段階から放射能に頭を悩ませる農家。「安全な米が作れるのか」「作っても、売れないかもしれない」。不安は今も消えません。「今までで一番大きな心配事。その中で最も余計な不安だ」と小松正信さんは怒りを訴えました。たばこは県たばこ耕作組合が作付中止を決定したため、作りたくても作れませんでした。

これまでお知らせ版等で公表してきた農作物やキノコ、山菜類などのモニタリング検査は、農林事務所を經由して郡山の農業総合センターで放射線の検査が行われています。今まで、町の農林産物から基準値を超える放射性物質は検出されていません。

また、放射能の風評被害を受けているのは農家だけではありません。観光客の減少により、旅館や温泉、商店にも大きな影響が出ています。

これまで実施してきた放射線モニタリング検査結果

種 類	採取日時	検査結果（ベクレル/kg）		
		ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137
サツマイモ	H23.10.18	ND	ND	ND
ダイコン	H23.10.18	ND	ND	ND
柿	H23.10.17	ND	ND	ND
稲わら __ 旧宮下村	H23.10.12	ND	39	48
稲わら __ 旧宮下村	H23.10.12	ND	ND	ND
稲わら __ 旧西方村	H23.10.12	ND	ND	ND
ばれいしょ（じゃがいも）	H23.10.11	ND	ND	ND
たまねぎ	H23.10.11	ND	ND	ND
シャカシメジ（菌根菌）	H23.10.6	ND	ND	ND
ウラベニホテイシメジ（菌根菌）	H23.10.6	ND	ND	15
秋そば	H23.10.3	ND	16	17
かぼちゃ	H23.10.4	ND	ND	ND
米 _ 旧宮下村（本調査）	H23.9.26	ND	ND	ND
菌床ヒラタケ（施設）	H23.9.22	ND	ND	ND
マイタケ（腐生菌）	H23.9.22	ND	ND	15
マスタケ（腐生菌）	H23.9.20	ND	ND	ND
ブナハリタケ（腐生菌）	H23.9.20	ND	7.5	ND
とちのみ	H23.9.20	ND	ND	11
米 _ 旧西方村（本調査）	H23.9.20	ND	ND	ND
原木しいたけ（施設）	H23.9.15	ND	18	20
原木ナメコ	H23.9.15	ND	24	33
鶏肉	H23.9.15	ND	ND	ND
サヤインゲン	H23.9.13	ND	ND	ND
米 _ 旧西方村（予備調査）	H23.9.9	ND	ND	ND
米 _ 旧宮下村（予備調査）	H23.9.9	ND	9.6	11
牛肉	H23.9.8	ND	ND	ND
クリ	H23.9.6	ND	ND	ND
米 _ 旧宮下村（早期出荷米調査）	H23.8.31	ND	ND	ND
原木しいたけ（施設）	H23.8.11	ND	ND	ND
ニンニク	H23.8.1	ND	ND	ND
鶏肉	H23.7.21	ND	ND	ND
夏そば	H23.7.21	ND	ND	ND
なたね	H23.7.21	ND	17	23
キュウリ（施設）	H23.7.19	ND	ND	ND
わらび	H23.5.26	ND	ND	ND
うわばみそう	H23.5.26	ND	ND	ND
カブ	H23.5.26	ND	ND	ND

食品衛生法における野菜類の放射線暫定規制値

ヨウ素 131	2,000 ベクレル/kg
セシウム	500 ベクレル/kg（セシウム 134 と 137 の合算値） ※ただし、飲料水、牛乳、乳製品は 200 ベクレル/kg

interview
農家の苦しみ

苗を捨てなければならなかった
あのむなしさは
農家にしか分からないだろう
でも、俺はへこたれない

たばこ農家

阿部 通利 さん (桧原)

親父からたばこ農家を受け継いで35年。今年は何もかもこれまでに経験したことのないことばかりでした。4月8日に県のたばこ耕作組合が県内全域で作付け中止を決定し、私は4月10日に苗を全て廃棄しました。作付のために準備してきた作業は全部無駄骨です。苗を捨てたとき、本当に今年は作れないと実感しました。その時のむなしさ、虚脱感は農家にしか分からないでしょう。私はたばこ専業農家なので、たばこを作らなければ収入はありません。い

わば失業です。しかし生活費、農機具のローンの残債など、毎月支払わなければなりません。東京電力の補償内容もはつきり決まっているわけではなく非常に不安です。来年度の耕作もまだ分かりません。肥料となる自前の発酵堆肥はほとんどの物がモニタリング検査が必要で、結果が判明するまで使用出来ません。組合では購入肥料を勧めていますが、もし堆肥を購入する場合、さらにコストが発生してしまいます。

放射能という目に見えない恐怖とは、今後も長い間向き合わなければならぬかも知れません。先行きは全く不透明です。しかし、何もしないわけにはいかないでしょう。今何をすべきか、ここから脱却するためにはどうすべきか。出来ることを地道に積み重ねるしかありません。

農家は自然と共生する仕事です。昔、台風でたばこの木が折れたり、ヒヨウで葉に穴が空いたこともありました。霜で全滅した年もありました。そういう時はやっぱり、がつくりと力が抜けます。しかし、そのたびに親父が言った「へこたれるんじゃない」という言葉を思い出すんです。農業には大変なことは山ほどあります。しかし収穫を終えた後、最高に嬉しい瞬間があります。放射能の問題があっても、農業を辞めようとは思いません。代々受け継いでくれた畑を俺が終わりにするわけにはいかないから。それに、やっぱりたばこ栽培が好きなんです。

どんなに大変でも、諦めずに頑張ります。親父の言葉を思い出して。

自分の努力では
どうにもできないもどかしさ
しかし、土にたずさわる誇りは
捨てられない

稲作農家

小松 正信 さん (西方)

当初、三島町は事故のあった福島第一原子力発電所から120kmもの距離があるため、これほどの騒ぎになるとは想像していませんでした。しかし事故から日数が経過するにつれて、次々と新たな情報公表され、遠く離れた三島町でも、水田から微量の放射性物質が検出されるなど、不安は大きくなるばかり。田植えをする際は、秋に実った米が安全だったとしても、風評被害で売れないのではないかと非常に不安でした。稲刈りが終わり、県のモニタリン

グ調査の結果では放射性物質が検出されず、ほっとしましたが販売はこれから。今後どうなるのか非常に心配です。生産者の立場からすれば「三島のお米は国の基準を満たしている。放射性物質は検出されていないのだから安全だ」と思っても、消費者の方の多くは「本当に大丈夫なのか信じられない」と敬遠する人が多いでしょう。作り手の「安全」と買い手の「安心」には大きな壁があります。私は、農協とその他の業者へ卸す以外に米の産直販売をして

いますが、産直の売れゆきは現状、例年の半分程度です。これまで、有機的な肥料を使い安全な米をつくるために努力し、作り続けてきました。しかし今回の放射能問題は自分の努力だけではどうにもならない。今まで農業をしてきた中で一番の大きな心配事です。放射線の基準値がコロコロと変わり、情報提供も遅い国の対応、そして原発には怒りです。

しかし、今農業を辞めるわけにはいかない。これまで、台風や冷夏などで、思い通りに収穫できなかった年もありました。しかし「来年こそは」と克服してきました。今までの土にたずさわってきた誇りは簡単に捨てられるようなものではないんです。

今は自分で何が出来るのかを懸命に考えています。放射能について、講演会や講習会に参加しています。春には、「ゼオライト」について山梨まで話を聞きに行ってきました。消費者の方に安心して食べてもらえる事が一番。今後も消費者のために努力していきたいです。

観光や商業などを襲う風評被害

放射線漏れの風評被害は、観光や商工業の分野にも影響を及ぼしています。町内の観光施設の来客数は、原発事故が発生して以降大きく減少しており、売り上げも落ち込んでいます。以前から厳しい経済状況の中で経営してきた町内企業にとって、この風評被害は非常に苦しいものです。しかし各企業では、何とかこの状況を打開しようと取り組まれています。

原発事故に加え豪雨被害も重なった「早戸温泉つるの湯」の湯、町の玄関口にある物産・観光の拠点「道の駅尾瀬街道みしま宿」で話を聞きました。



放射性物質モニタリング調査の結果、安全が確認された農産物が並ぶ道の駅



検査で時期を逃した山菜や野菜
しかし
待っているだけではだめ
今後も積極的なPR活動をしたい

●道の駅
布川 孝宏 駅長

会津地方でも放射能の影響があることがわかり、三島産の山菜や野菜についても、モニタリング調査の結果が判明するまで、出荷できず、せっかく採れた山菜も販売時期を逃し、売ることができませんでした。出荷規制については、地域や品種を特定せず、ひとくりに規制されたため、販売出来るものがほとんどない時期もありました。来客数の減少は深刻です。今後も風評との闘いは避けられそうにありません。しかし、ただ待っていても歯止めはかかりません。今後も積極的に外に向けて、安全をPRしていきたいです。



県外からの来客数の減少が顕著
風評被害に加え豪雨被害
問題は大きいですが
つるの湯は元気に営業しています

●つるの湯
五十嵐 信一 支配人

原発事故以後、県外からいらっしゃるお客さんが顕著に減っています。連休やお盆など、例年ならば駐車場は県外ナンバーの車が多くありますが、今年は県外の車が本当に少ないです。原発の風評被害に加え、7月の豪雨の影響も大きいです。ダムが貯水していないせいか、温泉の水が上がりにくくなっています。問題は一つではありません。しかし、目の前の課題を一つずつ解決していくしかないと思います。そして、県内外のお客さんに「つるの湯は元気に営業しています」ということを広くアピールしていきたいです。



豪雨災害後に只見川の水位が下がり、陸に上がってしまった遊覧船つるの湯丸

道の駅尾瀬街道みしま宿の来客数

月	平成 23 年 来客数	平成 22 年 来客数	増 減 率
3月	5,894	9,139	－ 35.5%
4月	11,977	13,178	－ 9.1%
5月	29,206	36,832	－ 20.7%
6月	22,330	28,179	－ 20.8%
7月	17,861	18,855	－ 5.3%
8月	19,131	28,734	－ 33.4%
9月	15,202	19,978	－ 23.9%
合計	121,601	154,895	－ 21.49%



早戸温泉つるの湯の来客数

月	平成 23 年 来客数	平成 22 年 来客数	増 減 率
3月	2,456	4,179	－ 41.2%
4月	3,907	4,956	－ 21.2%
5月	6,353	7,988	－ 20.5%
6月	5,029	5,690	－ 11.6%
7月	4,294	4,703	－ 8.7%
8月	5,005	7,295	－ 31.4%
9月	3,379	5,013	－ 32.6%
合計	30,423	39,824	－ 23.6%



新宿駅西口イベント広場で開催された「会津の大収穫祭 in 新宿」

『たくさんの人に
三島を知ってもらいたい』
正しい情報を消費者へ直接伝える
地道なPRをしています

●三島町ファン

瀧澤 和也さん

理解不足から「なんとなく」

福島産を敬遠している人が

結構いるはず。

三島の人が頑張る姿に

「自分も頑張らなきゃ」って思います



会津の物販イベントには何度か足を運んでいます。会津と三島町を知ったきっかけは、今年の夏に行われた復興支援のイベントです。それまで、会津は白虎隊くらいしか知らなかったし、三島町は名前も知らない町でした。地震がなければ一生知らない町だったかもしれません。しかし、こうして三島の方と出会えて良かった。逆境でも頑張る姿に、自分が励まされ、頑張る元気をもらっています。災害は無いほうが良いに決まっていますが、私のように、災害がきっかけで知り合えた出会いもあります。私のまわりだけでもありませんが、みんな福島の事を結構知りません。だから、今は会津、そして三島を知ってもらいたいチャンスなんじゃないでしょうか。

新宿駅西口イベント広場
「会津の大収穫祭 in 新宿」に
道の駅尾瀬街道みしま宿が出品
「会津の大収穫祭 in 新宿」
は10月25日・26日、新宿駅西
口イベント広場で開催され、
会津地方の17市町村が参加し
ました。三島町からは道の駅
尾瀬街道みしま宿が出品し、
山菜加工品や味噌の加工品な

どを販売しました。
会場には風評被害で苦しむ
会津を励まそうとたくさんの方
々が訪れ、三島町をアピール
する良い機会となりました。中
には原発事故がきっかけで福
島を応援するようになったとい
う方もいました。町では今後
も全国の消費者に正しい情報
を発信するよう努めています。

●編集を終えて

今までに積み重ねてきた
努力が、自分とは関係のない
所で壊される。その時の怒り
や失望感は想像に難くありま
せん。しかもそれが一過性で
はなく、これからずっと向き
合わなければならないとした
ら、前向きな気持ちになるの
はとても難しいことでしょう。

東京電力の損害賠償の請求
手続きが始まりましたが、請
求した内容が認められるかど
うかは不確定であり、すべて
の事業者の方々が救済される
かどうかは分かりません。

観光面などでは放射能による
風評被害に加え、豪雨災害に
よる道路が通行止めとなるな
ど、災害が重なったことで非
常に厳しい状況が今も続い
ています。

しかし、今回の取材を通して
「出来る事をやるんだ」とい
う事業者の方々の気持ちが伝
わってきました。道のりは険
しいかもしれませんが、町でも
地域経済が上向くよう努めて
いきます。

特集「風評に負けない」終わり



損害賠償説明会で、出席者に対し頭を下げる東京電力社員

出席者から不満相次ぐ 東京電力が損害賠償について説明

東京電力の福島第一原発
事故による損害賠償説明会
は10月24日、町民センタ
ーで開催され、町内の農業
や観光業の事業者など約20
人が出席しました。説明に
立った東京電力の担当者は
「加害者である東電として
誠意をもって対応いたしま
す」と話し、「誠に申し訳な
いありません」と何度も繰
返し頭を下げました。

損害賠償は原子力損害の
賠償に関する法律などに基
づいて行われ、事業者から
の請求により賠償額が算定
されます。原則として原発
事故前の年度の売上高を基
準とし、事故が原因で減少
した利益とかがった費用が
賠償されます。初回の請求
は、事故が発生した3月11
日から8月31日までの期
間に出た損害を対象とし、そ
れ以降は3カ月ごとに請求
・支払いが予定されていま
す。請求には売上高が確認
できる書類や追加費用の

領収書などが必要となりま
す。

出席者からは「書類がな
くてもすべて賠償請求を認
めてもらえるのか」「避難
者の受け入れにかかった費
用は請求できるのか」など
の質問が出されました。ま
た「放射性物質が検出され
ていないのに買ってもらえ
ない。長年積み重ねてきた
信頼を失ってしまった」「わ
たしたちの農産物は安全な
のだから、東電が買い取っ
てほしい」などの声もあり、
東京電力に対する不満が相
次ぎました。

説明会後は個別相談が行
われ、出席者は請求手続き
などについて東京電力の担
当者から詳しく聞きました。

東京電力では個別相談窓
口を開設し、今後も損害賠
償について対応します。

東京電力コールセンター
☎0120(926)404
受付 午前9時～午後9時



二瓶町長に DVD を手渡す星幹夫会津信用金庫理事長

会津信用金庫が観光DVDと義援金を贈る 創立 70 周年を記念して

会津信用金庫は会津の観光地を撮影した DVD と義援金を町に贈りました。星幹夫理事長が 10 月 4 日、町長室を訪れ、二瓶町長に義援金と共に DVD を手渡しました。星幹夫理事長は「風評被害と豪雨被害で会津の観光は非常に厳しい状況にありますが、信用金庫もネットワークを活かして協力します」と話しました。



ふるさと荘のロビーで開催されたコンサート

ふるさと荘に響いたイケメンの歌声 復興イベント、イケメンズによるコンサート

宮城県仙台市を中心に活躍している 2 人組音楽ユニット「イケメンズ」のコンサートは 10 月 3 日、ふるさと荘で行われ、約 30 人が来場しました。コンサートでは「絆」などの他、7 曲が演奏されました。来場者は「ふるさと奥会津みしまを、みんなの力で復興していかなくてはならないと感じた」などと話していました。



町民グラウンドで行われたグラウンドゴルフの様子

会員の健康増進と親睦を深める 老人クラブ主催グラウンドゴルフ大会

老人クラブ主催のグラウンドゴルフ大会は 10 月 5 日、町民運動場で行われました。老人クラブの会員 58 人が参加し、渡部重記さん（大石田）が優勝しました。同会会長の五十嵐敏さんは「健康増進と会員の親睦を深めるために、毎月 1 回練習をしています。年々レベルが向上しています。いつまでも健康で仲良く過ごせるように来年も続けたいです」と話しました。



道具を使って上手に絵を描く子どもたち

私が書いた絵、見てくれた！？ ワンダークラブでお絵かき

保育所に入所前の子どもたちが毎月活動するワンダークラブは今月 10 月 13 日にお絵かきをしました。ラップの芯やぼんぼんにインクをつけて、上手に絵を描きました。この日書いた絵は 11 月 3 日の文化祭で町民センターのロビーに飾られました。次回の活動は 11 月 17 日に「絵本とお話の会」の方と一緒に遊ぶ予定です。参加希望は町教育委員会 ☎ (48) 5599 まで。



首都圏三島会の総会で行われた盆踊り

ふるさと三島を応援しています 首都圏三島会第 35 回総会

首都圏三島会第 35 回総会は 10 月 1 日、東天紅上野店（東京都台東区）で行われ、会員約 40 人が出席しました。町からは議員 3 人と町職員 2 人が出席。JA 会津みどり三島山菜加工場からも 2 人が出向き産品を提供しました。懇親会では町の近況が報告され、出席者からはふるさとを気遣い応援する声が多く聞かれました。また会員有志の方々から町に対する義援金が贈られました。



地鶏のバーベキューを楽しむ来場者

地鶏を美味しくいただきました 第 10 回会津地鶏まつり開催される

会津地鶏まつりは 10 月 8 日に美坂高原で行われました。例年に比べ今年は来場者が少ない様子でしたが、訪れた皆さんは高原の澄み切った空気の中、おいしい会津地鶏を味わいました。来場者からは「鶏肉が本当においしいし大満足です」という声が聞かれました。同日、美坂高原では新そばまつりが行われ、打ちたてのそばの味を楽しみました。



地区対抗綱引きで連覇を達成した松原地区

綱引きは松原が連覇、縄跳びは西方が優勝 桐の里町民運動会

桐の里町民運動会は、さわやかな秋晴れとなった 10 月 9 日に町民運動場で開催されました。地区対抗綱引きは昨年度優勝の松原地区が連覇を達成。地区対抗縄跳びは、西方チームが息の合った跳躍で 2 度の跳躍の合計で 100 回を跳び優勝しました。そのほか「グラウンドゴルフグランプリ」や「輪投げオリンピック」が行われ、幼児から高齢者まで多くの皆さんが参加しました。



2 年生の算数を参観する様子。かけ算の式を考えました

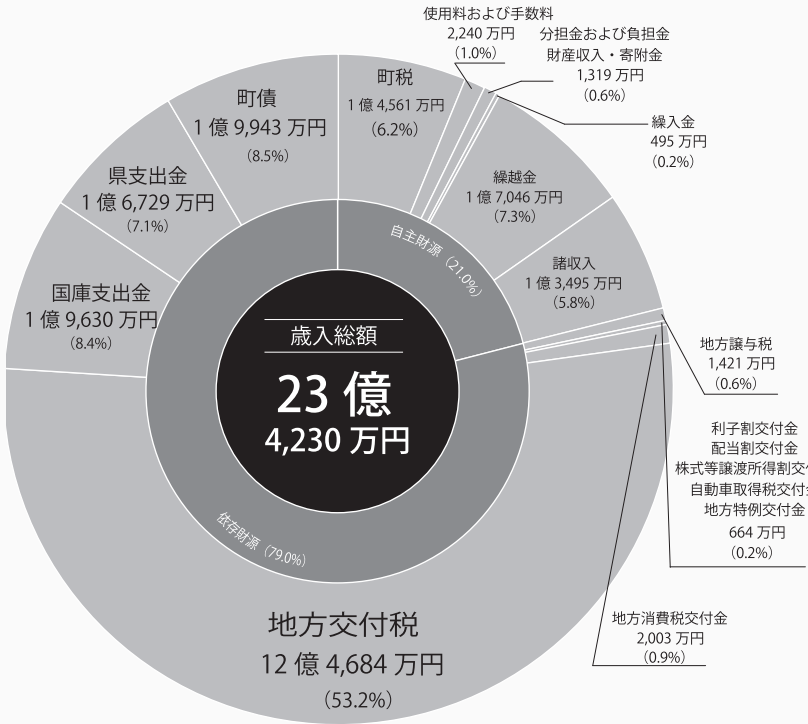
おじいちゃん、おばあちゃんが授業参観 三島小祖父母参観

三島小の祖父母参観は 10 月 19 日に行われ、孫が学ぶ姿をひとめ見ようと多くの方が出席しました。校庭で行われた体育、図工室で行われたものづくり、算数などの授業を参観しました。普段はあまり見ることが出来ない授業や、学校で見せる孫の様子を、おじいちゃんやおばあちゃんは目を細めて見守っていました。参観の後はそろって劇の鑑賞をしました。

町の財政は、皆さんからの税金や、国からの交付税などで成り立っています。その使い道（予算）と使った結果（決算）は、町議会で承認されることで決まります。平成22年度の決算が、町議会9月定例会で承認されました。決算から町の財政状況を説明します。

一般会計歳入

●歳入総額 前年度比4.0%増
●依存財源が79%を占める

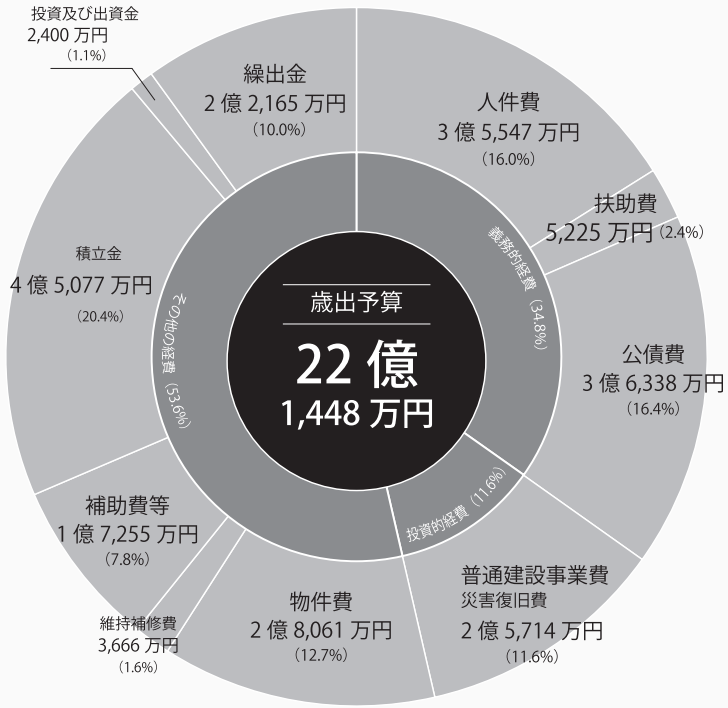


歳入は23億4,230万円

歳入は前年度より9095万円の増となりました。これは地方交付税の増額と、社会福祉協議会へ委託していた福祉基金を貸付金元利収入として計上したことが大きな要因です。地方交付税の増額理由は町民税など地方税が年々減収となっていること、および国の円高・デフレ対策に基づく財政需要額が増えたためです。その他、国庫支出金では国の経済対策として21年度より各種臨時交付金事業が予算化され、繰越事業も合わせて5456万円の増となりました。また地方債では臨時財政対策債における増額やソフト事業の拡充による基金積立金が増えましたが、情報通信基盤整備事業が繰越となったため最終的に997万円の増になりました。

一般会計歳出

●歳出総額 前年度比6.4%増
●実質収支1億1,249万の黒字



歳出は22億1,448万円

歳出では財政健全化へ向けて財政全般にわたり見直し、歳出削減を図る一方、住民の安全安心の確保や地域活性化に向けて、各種地域活性化・臨時交付金事業を活用し、町民のための諸事業を実施しました。実施した主な事業は、①戸籍電算システムの導入②空き家改修③高齢者福祉センター等の改修④子ども手当の支給⑤早戸温泉の給水施設設備⑥ふるさと荘改修⑦館中乙田線、名入線改良⑧防災行政無線・全国瞬時警報システム設置などです。一方、簡易水道事業・戸別合併処理浄化槽事業は施設修繕や補助事業等の各事業が減少しています。また、平成20年度・21年度に実施した公的資金補償金免除繰上償還の影響により平成22年度において、公債費が減少しました。

三島町の財政力指数

財政力指数は町で自力で収入できる額の割合を示すものです。1に近いほど財源に余裕があるとみなされ、逆に低いほど国に頼っている状態です。地場産業の活性化による税収の向上や歳出の削減などに努め、財政基盤を強化していくことが必要です

三島町の	22年度	21年度
財政力指数	0.12	0.13

平成22年度特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために一般会計と区分された会計です。それぞれの収支は黒字となっていますが、足りない財源は一般会計からの繰越金でまかなわれており、その額は全体で約2億円にのびります。一般会計の財源に余裕がなくなれば、特別会計も厳しい状況になるということです。また、老人保健特別会計においては、後期高齢者医療制度への移行に伴い、平成23年度をもって廃止となりました。

町の基金

基金には財政調整基金などの積立基金と各種貸付基金からなる定額運用基金がありあます。財政調整基金は、安定した財政運営を維持するとともに万が一の緊急事態に対応するための貯金といえます。平成22年度は歳出削減や地方交付税の増による黒字の結果、財政調整基金に1億710万円を積みますることができました。

平成22年度特別会計

特別会計	歳入	実質収支
国民健康保険	2億7,212万円	+3,323万円
簡易水道	1億5,748万円	+891万円
路線バス	2,070万円	+128万円
老人保健	10万円	0万円
農業集落排水	3,533万円	+274万円
介護保険	3億4,992万円	+1,582万円
戸別合併処理浄化槽	3,640万円	+275万円
後期高齢者医療	2,902万円	+39万円

基金

町の貯金

基金名	年度末残高	増減
財政調整基金	5億9,115万円	+1億710万円
減債基金	8万円	0万円
その他	4億9,266万円	+3億2,912万円
合計	10億8,389万円	+4億3,622万円

※特別会計における基金も含む

健全化判断比率と資金不足比率

自治体の財政破たんを未然に防ぎ、悪化した自治体に対して早期に健全化を促すために、「地方公共団体の健全化に関する法律」があります。この法律に基づき、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。三島町は全ての値が早期健全化基準を下回っていますが、厳しい財政状況です。今後も行財政改革を進め、財政基盤の強化に努めます。

健全化判断比率	三島町		早期健全化	財政再生
	22年度	21年度	基準	基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0%	40.0%
実質公債費比率	13.0%	15.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	1.8%	44.9%	350.0%	—

対象となる事業	三島町		経営健全化基準
	22年度	21年度	
簡易水道 農業集落排水 個別合併処理浄化槽	不足なし	不足なし	20.0%

用語の説明

●一般会計と特別会計

町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。

●地方交付税

町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。

●実質赤字比率

一般会計等の実質収支の合計が赤字となった場合、標準財政規模に対する赤字額の割合

●標準財政規模

標準税収入（町税、地方譲与税など）＋普通交付税＋臨時財政対策債発行額

●連結実質赤字比率

一般会計、特別会計の実質収支額、公営企業の資金余剰合計が赤字となった場合、標準財政規模に対する赤字額の割合

●実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する割合の3年平均値。（家庭に例えると年収に占める年間の借金返済額の割合）

●将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合（家庭に例えると負債残高が年収の何年分に相当するかを示した割合）

町教育委員会の点検・評価の

概要をお知らせします

一昨年からスタートした
教育行政の点検・評価

町教育委員会は法律の改正に伴い平成21年度より教育行政に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行っています。これは、毎年実施される事業が町の各種計画等に基づくものか、効率的かつ効果的なものかなど、第三者委員会（有識者）の意見をいただきながら点検・評価を実施したところです。

今年度は22年度事業を対象に40事業について点検・評価を実施しました。（下表参照）教育委員並びに職員の自己評価に対して、有識者（5名）より効率性や有効性等々の多岐にわたるご意見をいただきました。

有識者による意見（抜粋）

・施設が良好な環境のもと利用されることは重要であり、その管理運営については、委員会としても施設訪問を実施し、施設の現状を把握する必要があると考えます。

・教育の現状や課題を整理して、三島の教育の目指す方向性を提示して具体的施策を推し進めていかなくてはならない。速やかな教育振興基本計画の策定を望みます。

・子供達の様々な伝統行事への参加は、地域とのふれあいや後継者育成のために、今後とも積極的に取り組むべきと考えます。

・学校ＩＣＴ教育の推進においては、先生や生徒ともにメディアリテラシー教育が今後必要と思われる。

・教育委員会が関与する様々な講座・教室を繋げていくことが重要であり、職員は自分の担当のみでなく広く情報を収集し連携を図ってください。

・おばあちゃんの味事業は食文化の伝承や異世代間の交流など重要な事業であるので、今後も継続していくべきである。

・小学生や教員への地区探検は町を知る上でも重要であると思われるので、学校の授業や公民館事業へ反映していただきたい。

・子育ての方向性を保育所で感じられるようにすることが重要で、保育所の先生方でよく話し合いをし、どのような子育てを行うか保護者と共有する必要があると思われる。

・全体的にみて、ほぼ達成できている評価であるが、今後さらに上位の評価を目指して、町民の負託に応えることを期待しています。

・短期・長期の事業目標を立てることが、実現度をはかるうえで重要であるので、具体的な目標値を立てる必要がある。



おばあちゃんの味の様子

個別評価（40 事業の評価分布）

実 現 度	事 業 数
A _ 達成・ほぼ達成	13 事業
B _ 概ね達成	24 事業
C _ 達成していない	3 事業

平成 22 年度教育委員会事業評価・点検表（抜粋）

主要施策	重要度	実現度	評価内容
教育委員会会議の公開や地域への情報発信	B	B	委員会開催日を広報誌に載せるなどの広報活動は行ったが、傍聴者はなかった。会議の内容などを周知しながら広報するなどの工夫が必要であった。議事録の公開の請求はなく、広聴活動にも工夫が必要である。
教育委員の自己研鑽	A	B	教育委員が自己研鑽を積む意義は大きく、予算の範囲内で計画された研修等には参加し、また定例会のおり、教育関連情報の提供に努めているが、独自の研修の場を設定する機会がなかった。
所管施設の訪問	B	C	所管施設（学校以外）の維持管理について常に掌握しておくことが重要である。個人での施設訪問は機会あるごとにおこなっているが、委員会としての訪問はなく、施設訪問の機会を増やす必要がある。
学校教育及び社会教育に関する方針	A	B	教育行政における重要事項や基本方針を決定することは大切であり、新年度の前に重点事項等を委員会で決定しているが、長期的な教育方針となる教育基本振興計画は、基本理念等の合意はなされたが具体的な施策の議論までは至っていない。
学力向上支援対策（少人数指導補充教員の配置）	A	A	小学校及び中学校に算数・数学の補充教員を配置し、個々の能力に応じた指導が行え、学習意欲に結び付けることができ学力向上が図れた。
学力向上支援対策（学校ＩＣＴ教育の推進）	B	B	ブロードバンドの活用を図り、ＩＣＴ教育を推進するため、教職員や教育委員の研修を実施した。
異世代交流事業（おばあちゃんの味）	A	A	小学校５・６年生を対象に、老人クラブ女性部の方から町の伝統食を教えていただき、地域の食文化を繋ぐ重要性やおばあちゃんと一緒に調理することを通して異世代間の交流を図った。
地域伝統活用型活性化推進事業（年中行事を核とした地域活性化事業）	A	A	児童生徒の参加を核とした地域活性化の手段としての伝統的行事の参加促進を図り、地域の伝統行事の維持・継承を進めてきた。原材料の確保に困難をきたしており、財政的支援を行い地域の活性化を促した。
教育施設の整備（社会教育施設管理）	B	B	老朽化している施設が多く、随時、維持・修繕等を進めてきた。町民運動場のグラウンド改修や照明設備の改修を実施し、環境改善を図った。
団体育成事業（社会体育振興事業）	B	B	町民の健康増進と交流促進を図るために、体育協会を窓口に関各団体に助成金による支援を行っているが、高齢化や加入者の減に対応できる具体的事業展開がなされなかった。
食育推進事業（お弁当サポート推進委員会）	A	B	学校での弁当給食に食育や保護者支援をどのように取り入れていけば良いか検討する委員会を設置し、学校への食事提供や保護者向けのお弁当教室を実施した。食事提供が４回と少なく事業実施には不十分な結果となった。
保育所の運営	A	B	子育てに不安を持つ母親に対する相談等は、保育所と子育てサークルや関係機関との連携を図って対応してきた。延長・一時保育などの保育サービスの充実を図ってきたが、サービスが多様化するなか対応し切れていないところがある。
生活工芸運動の推進	A	B	生きがいとしてのものづくり、身近なところに自分の作った生活にとけ込んだものづくり、地場産業としてのものづくりを推進してきた。品質管理や原材料の確保等の課題に具体的な対策が講じられなかった。

はんよう 待望の汎用コンバイン導入 試運転を実施

新しく導入した汎用コンバインの試運転は10月7日、旧西方児童館近くのそば畑で行われました。

今までのそば刈り取りについては、町内で1台しかない汎用コンバインで対応していたため、全てのそばを適期に刈り取ることができず、新たなコンバイン導入について生産者から強い要望がありました。

この汎用コンバインは、西方集落営農組合（代表 二瓶 一男氏）が借り受け、大石田、桧原、名入集落営農組合と連携して、その地区をとりまとめて、そばの刈り取りを行うことになりました。この他の地区は、従来どおり三島農産で行いますが、どちらか早くそばの刈り取りが完了すれば、それぞれ支援に回ることとなりました。

この体制により、そばの適期刈り取りができ、そばの品質向上が図られることが期待されます。

今後は、特に遊休農地、耕作放棄地対策として、汎用コンバインで刈り取りができる、大豆、麦、菜種などの作物振興も検討し、有効活用を図ります。また、品質の高いそば生産により、町内の飲食店等と連携しながら、消費拡大をはかり、生産から消費までの一貫した町内のそば循環体制づくりも検討される予定です。



旧西方児童館付近のそば畑で行われた汎用コンバインの試運転

全国地域安全運動福島県民大会 県から感謝状

防犯功労団体 桐の里三島町安全パトロール隊
優良防犯連絡責任者 五十嵐 喜良さん



第32回全国地域安全運動福島県民大会が行われ、日頃からの地域安全活動が認められ、桐の里三島町安全パトロール隊と五十嵐喜良さんに県から感謝状が渡されました。

二瓶 政一さんに 大日本猟友会長表彰



大日本猟友会長の表彰を受けた二瓶政一さん

10月13日に県猟友会の総会が行われ、席上で二瓶政一さん（名入）が大日本猟友会長の表彰を伝達されました。二瓶さんは長年、町の有害鳥獣駆除隊長や、県猟友会の両沼支部長、鳥獣保護員などを務めた功績が認められ今回の表彰となりました。二瓶さんは「これまで継続してきたことが評価されたのだと思います。猟友会は、後継者不足が深刻です。若い人にも後を受け継いでもらいたい」と話します。

子どもたちの事を 真に考え 大切にしたい

福島県教育委員長に選任された
遠藤 由美子さん



奥会津書房代表で県教育委員の遠藤由美子さん（西方）が10月14日の県教育委員会、定例会で教育委員長に選任されました。任期は10月22日から1年間です。就任に当たり、遠藤さんは次のように話しました。

「私に何かが出来るわけではないかもしれませんが、しかし、震災で亡くなった子どもたちの遺志を絶対に忘れないという想いを強くしています。大変な震災を経験し、生きていくくれた子供たちを大切にしたいです。会津では津波被害はありませんが、海沿いの

子どもたちはほとんどない経験をしました。津波に流され、命からがら助かった子供たちがその後、原発事故で故郷から遠く離れて暮らし、今なお、帰りたいくても帰れない状況が続いています。そんな状況だからこそ子どもたちを大切にしなければならぬのではないのでしょうか。子どもたちの未来を真剣に考え、大事に育てる環境を作っていきたい。そして亡くなった子どもたちのつなぐべき未来を、残された子どもたちに託してあげたいです。」



奥会津“要”^{かなめ}のトンネル 早戸温泉郷トンネル開通

国道252号、早戸地区内のスノーシエッドは老朽化が進み、傷みも激しいことから大型車の通行や冬期間にはスリップによる交通事故も発生するなど、危険な状況にありました。そのため、平成15年から整備を進め、全長624m、そのうち330mを「早戸温泉郷トンネル」として工事を着工しました。平成23年3月に工事が完了し、10月31日に開通式が行われました。開通式で二瓶隆司町長は「このトンネルは単に老朽化による改修だけでなく、7月の豪雨災害からの復興の第一歩でもあります。また、今後の奥会津の振興にとっても非常に重要な道路です」と挨拶しました。

宮下病院だより 「薬剤師のつぶやき」



福島県立宮下病院

薬剤部 薬剤技師 鈴木 学

今日は、体内で薬がたどる運命についてお話をさせていただきます。薬は服用してから体外に排出されるまで、私たちの体の中で様々な過程をたどります。それが、ADME（アドメ）です。

ADME は、専門的に言うと①吸収（Absorption）、②分布（Distribution）、③代謝（Metabolism）、④排泄（Excretion）の頭文字を取った略語です。薬は、静脈注射を除いて、必ず体の中でこの4つの過程をたどります。つまり、体内に投与された薬は吸収されて血液中に入り、体内の作用部位に分布して薬効を発現します。役目を終えた薬はその後、主に肝臓などで違った物質に代謝（解毒）され、糞尿中に排泄されて薬としての運命を終えるのです。このことを念頭に置いて考えてみると、薬についてより深く理解できるようになります。

例えば、1日1回の服用薬と、1日3回の服用薬があります。高血圧薬や高脂血症薬などの多くは、ADMEにかかる時間が長いので1日1回の服用となります。逆に、解熱鎮痛薬や抗生剤などの多くは、ADMEにかかる時間が短いので1日3回の服用が必要になります。また、肝臓や腎臓が弱っている人は、代謝（肝臓が重要）や排泄（腎臓が重要）が遅れ、体の中に薬が留まる時間が長くなることから、医師は服用量や回数を適切に調整して処方しています。

このように、体の中での薬の運命を知ると、自分の愛用薬の用法用量はきちんと守りたくなるものですね。

消したはず 決めつけないでもう一度

秋季全国火災予防運動

実施期間 11月9日㊦～11月15日㊦

住宅防火 いのちを守る7つのポイント

<3つの習慣>

- ①寝たばこは絶対やめる
- ②ストーブは燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す

<4つの対策>

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- ②寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災品を使用する
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を使用する
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、となり近所の協力体制をつくる

歳時記 萌の会

風評に負けず地酒と城の月	小柴盛雄	秋なすび水を弾きて艶やかに	小平佳子
生活 たつき さえ地崩れさせて河静か	佐藤朋良子	雲散りて刈田啄む鳩の二羽	志田たつの
秋灯火意味の重さと広辞苑	小柴六進子	静寂やページ捲りて夜半の秋	小柴有美子
移ろいに取り残されし夜長かな	諸井まさ子	鍬頭息子に任せたる今年米	片山祐一
虫の声夕餉の箸を止めにけり	栗城幸子		

三島の民話

第八話

小豆が赤いわけ 餅のほめ言葉

小豆が赤いわけ

むかし神様が作物の種を集めて相談したそう。春になって種をまくときに、土の厚さはどの位が良いとかみんなに聞いたそう。一番先に豆に聞いたら「ちいっと位はいっぱいでも良い」と言ったそう。次には粟。粟に聞いたら「私は粒が小さいので少しで良い」と言ったそう。次は小豆に聞いたら「私はちようどいいのが良い」と言ったのでみんなに笑われたそう。それで小豆は赤くなった。それからずくずくっと小豆は赤いそう。

掲載協力
二瓶ミイ子さん（大谷）

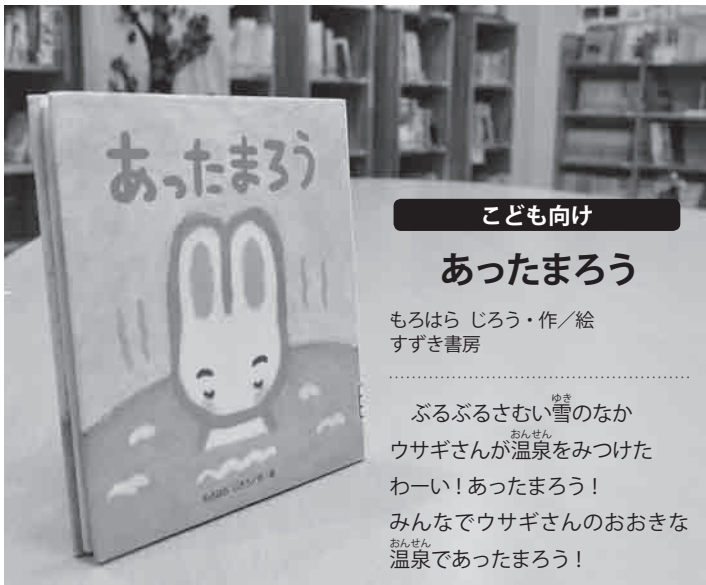
餅のほめ言葉

餅よ餅よとお声がかかる。餅にも数があるもので、家の旦那は物持ちで、それに母さんつく餅は家内仲良く丸め餅。家の旦那は身上しんしょうもち。花嫁さんの持つてきたのがこの家身上しんしょうの長持ちで、おなかのかいのが赤ちゃんもち。股のかいのがセーニングもち。ばあさん焼くのが焼き餅で、話の早いのが草餅で、ただ今持ち出す御餅は新郎新婦がついた餅。味で良いのが納豆餅。お色で迷わずきな粉餅。お化粧で仕上げた雑煮餅。色は黒いが、つまんでみなよこの家自慢のあんこ餅。お客さんよ客さんよこれ程数ある餅なれば、遠慮は要らない要りません。入れ替え差し替え出し替えまして風呂敷づつみに包むほど。どうぞごゆっくりお上がり下さい。

掲載協力
五十嵐光栄さん（大谷）

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●問い合わせ 教育委員会 ☎ (48) 5599



こども向け

あったまろう

もろはら じろう・作／絵
すずき書房

ぶるぶるさむい雪ゆきのなか
ウサギさんが温泉おんせんをみつけた
わーい！あったまろう！
みんなでウサギさんのおおきな温泉おんせんであったまろう！

本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会にて検討し、選定された本を購入します。

おつきみうさぎ

中川 ひろたか・文
村上 康成・絵
童心社

ススキ野原で不思議なウサギをみつけ、連れて帰った夜、お月様がでると……。秋にピッタリの可愛い絵本です。

こども向け



大人向け

円卓

西 可奈子・著者
文藝春秋

八歳の「こっこ」こと渦原琴子は大人びた小学生。好きな言葉は「孤独」。そんな「こっこ」の周りの超個性的な人々との不思議な日々を関西全でつぶったどこか懐かしい物語。



これからの行事予定 town schedule

11月20日㊤

県議会議員選挙

地域ふれあいサロン

三島町社会福祉協議会

川井友愛サロン

11月10日㊤ 10:00～ 川井集会所

12月8日㊤ 10:00～ 川井集会所

大石田友遊サロン

12月6日㊤ 10:00～ 大石田生活改善センター

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

ご寄附

ありがとうございました

町へのご寄附

首都圏三島会 会員有志 様

会津信用金庫理事長 星 幹夫 様

両沼保育協議会長 鈴木 富也 様

(社)会津若松法人会会長 渡邊 泰男 様

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

町民課 ☎ (48) 5565

4カ月児健診

11月8日㊤ 11:15～ 坂下厚生総合病院

乳幼児健診

11月17日㊤ 13:00～ 町民センター

足腰げんき教室

◎室内運動編

11月11日㊤ 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

11月24日㊤ 13:00～ 町民センター集合
河東学園プール

機能訓練会

11月25日㊤ 14:00～ 福寿草

心の健康相談（※事前申し込み必要）

11月22日㊤ 13:30～ 福寿草

心配ごと相談

11月10日㊤ 9:30～6192 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



町 地域政策課
美しい村づくり班
☎ (48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では9月中、刑法犯の発生は1件ありました。

あなたの車が
狙われているかも！？

会津坂下警察書管内で、時折、自動車盗難が発生しています。今年に入ってから盗難に遭っている車種は、主に貨物型の自動車ですが、皆さんが日常使っている自動車であっても、盗まれないとは言いきれません。特に農家のお宅などで使用している貨物自動車（軽トラックを含む）は、自動車に鍵をさしたままにしているか、車内に鍵を置いたままにしている事が多いようです。

もしあなたの自動車が盗まれ、その自動車で重大な事故や事件を起こされてしまったら……。いくら被害者であっても苦い記憶が後々まで残ってしまいます。自動車の鍵かけも習慣として行っていれば、「車上ねらい」などの被害を防ぐことが出来ますので、皆さん一人ひとりの幸せと、地域の安全のために車から離れる際には鍵を車にさしたままにせず、確実な施錠をお願いします。

街頭犯罪発生状況（1～9月）

区 分	管内	三島町
空き巣狙い	6	
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし	4	3
自動車盗	3	
オートバイ盗		
自転車盗	13	
自販機狙い	2	
車上狙い	8	1
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	38	4
全刑法犯	81	6

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

税の無料相談を実施します

東北税理士会 会津若松支部

会津若松税理士会は11月11日から始まる「税を考える週間」に合わせて、「税の無料相談」を下記の通り実施します。税に関してのご質問ご相談は、ぜひこの機会をご利用ください。

◎日時

11月15日㊤ 13:00～16:00

◎場所

アピオスペース2階会議室
（会津若松市インター西90）

町 東北税理士会会津若松支部

☎ 0242 (32) 1960

栄養・体調サポートについて

講演会開催

福島県栄養士会

スポーツ少年団や運動部の小・中・高校生向けに栄養・体調サポートについての講演会を実施します。入場無料ですので、スポ小の監督、コーチの方、父母の方などぜひおいで下さい。

◎日時 11月13日㊤ 10:00～12:00

◎場所 会津稽古堂研修室1

（会津若松市栄町3-50）

◎講師 公立藤田総合病院

(財)日本体育協会公認栄養士

山崎有里子氏

※参加を希望される方は事前に下記お問合せ先までご連絡ください。

町 (社)福島県栄養士会会津支部

☎ 0242 (39) 7872 （担当 廣野）

FAX 0242 (39) 7805

三島町の人口と世帯

（10月1日現在）

人口	1,989	-2	出生	0
男	948	-1	死亡	2
女	1,041	-1	転入	2
世帯	837	0	転出	2

※住民基本台帳による数値です。

震災による労災保険制度の

重要なお知らせ

厚生労働省 福島労働局

労働者の方が工作中や通勤中に地震や津波により、建物が崩壊したことなどが原因となってケガや死亡された場合には、ご本人やご家族の方は「労災保険」による給付を受けられます。労災の請求は全国の労働基準監督署で受付けています。詳しくはお近くの労働基準監督署または福島労働局にご相談ください。

◎問い合わせ先

会津労働基準監督署

〒965-0803 会津若松市城前2-10

☎ 0242 (26) 6494

福島労働局 労働基準部 労災補償課

〒960-8021 福島市霞町1-46 福島合同庁舎5F

☎ 024 (526) 2270

お店選びはSマーク登録店で

会津大学

11月はSマーク標準営業約款の普及登録推進月間です。Sマークは厚生労働大臣認可の標準約款制度に従って営業しているお店です。このSマークを店頭に表示しているお店なら安全、清潔、安心が保証され、信頼できるお店選びの目安になります。理容店、美容店、クリーニング店、めん類飲食店、一般飲食店などSマーク登録店をお選び下さい。

標準営業約款（Sマーク）



厚生労働大臣認可

◎問い合わせ先

(財)福島県生活衛生営業指導センター

☎ 024 (525) 4085

第7回 会津の編み組工芸品展

最高賞の福島県会津地方振興局長賞は
菅家哲夫さん（金山町）の四つ目ザル



編み組細工の実演コーナーでは、工人と来場者の方々が交流した



第7回会津の編み組工芸品展は10月15日・16日、交流センター山びこで開催されました。会津各地から586点の作品が寄せられ、大勢の来場者で賑わいました。
応募作品は審査が行われ、最高賞の福島県会津地方振興局長賞には菅家哲夫さん（金山町）の四つ目ザルが選ばれました。
また会場では編み組細工の実演が行われ、来場者と工人の方々が交流しました。
さらに山ブドウストラップ作りの体験コーナーも設けられ、自然素材による手作りの楽しさを広めました。

東北の伝統の技 三島に集結



東北六県伝統的工芸品展

東北六県伝統的工芸品展は10月15日・16日、交流センター山びこで会津の編み組工芸品展と同時開催されました。会場には青森の「津軽塗」や秋田の「大館曲げわっぱ」など、有名な工芸品の数々が並びました。

展示された工芸品は経済産業大臣が指定する伝統的工芸品で、三島町の「奥会津編み組細工」もその一つです。展示会には宮城県を除く5県の12産地から作品が寄せられました。東北の豊かな自然の中で育まれてきた魅力あふれる工芸品の数々に、来場者は目を凝らしていました。

ものづくりへの原点回帰 ものづくり再光

ものづくり再光は10月15日・16日に生活工芸館2階で行われ、編み組以外の工芸品を展示・販売しました。今年が初めての開催で、「生活に根差し、生活で使うものを」というものづくりの原点に帰り、商品として売れるものだけでなく、分野にとらわれず様々なものづくりに光を当てることを目的としています。獅子舞や染め織など多種多様な工芸品が開場を飾りました。



賞	作品名	作者名	市町村名
福島県会津地方振興局長賞	四つ目ザル	菅家哲夫	金山町
会津若松市長賞	手提げかご	大山達郎	会津若松市
喜多方市長賞	中ザル	武藤叡太郎	喜多方市
北塩原村長賞	茶碗入れカゴ	須藤文男	喜多方市
磐梯町長賞	米研ぎざる	小平廣市	三島町
猪苗代町長賞	あけび手提げかご	山本正子	猪苗代町
会津坂下町長賞	手提げかご	板橋サガミ	三島町
柳津町長賞	すいのう	鈴木文夫	柳津町
三島町長賞	ヒロロ手提げ籠	二瓶キシイ	三島町
金山町長賞	平ザル	角田恵治	金山町
昭和村長賞	手編み帽子	五十嵐カツミ	昭和村
会津美里町長賞	メ縄	野中勇	会津美里町
南会津町長賞	ヒロロスカリ	角田タケノ	三島町
下郷町長賞	からむしショール	山内照枝	昭和村
只見町長賞	手提げかご	刈屋洋子	只見町
桧枝岐村長賞	平ざる	角田優	三島町
福島民報賞	脱衣籠	五十嵐道夫	昭和村
福島民友新聞賞	買い物かご	斎藤クニイ	会津若松市
奥会津三島編組品振興協議会長賞	ヒロロ手提げ	大島やを子	会津若松市
	山ブトウ手提げ籠	五十嵐三美	三島町
	ヒロロ抱えバック	五十嵐タメ子	三島町
	山ブドウ手提げ籠	五十嵐恵	三島町
	草履	菅家ハルイ	三島町
奨励賞	米研ぎザル	佐藤照子	会津美里町
	米研ぎザル	佐藤ミツイ	会津美里町
	長財布	鈴木み系子	三島町
	花結び円形マット	小須田治祐	猪苗代町
	手提げカゴ	秦愛子	三島町

祝 町制50周年

これまでの50年を振り返り
これからの50年を歩みだす



1



2

1 多くの方が参列し、50周年を祝った祝賀会 2 祝辞を述べる佐藤雄平福島県知事 3 そば口上を披露する栗城佐さん（写真右）と諏訪義幸さん（写真左） 4 いわき市四倉の子どもたちによる「じゃんがら念仏踊り」

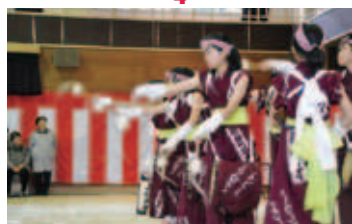
三島町町制施行50周年・三島町商工会創立50周年合同記念式典は10月23日、森の校舎カタクリの体育館で行われ、約150人が出席しました。

二瓶隆司町長は「この町に誇りを持ち、さらに住みよい町を目指し、次の世代に伝えるのが私たちの努めです。三島町の50年の歴史に思いをはせ、町民が一体となり力を合わせ、新たな時代を切り開くために努力していくことを誓います」と式辞を述べました。続いて、菅家政義商工会長は「これまで商工会は町とともに歩んできました。少子高齢化が進み、厳しい経済情勢が続いていますが、今後も行政と連携していきたいで

す」と式辞を述べました。

また来賓として出席した佐藤雄平福島県知事は「50周年を一つの契機とし、一人一人が主役となり、いきいきと喜びあふれる町づくりを心から期待します」と祝辞を述べました。

その後行われた祝賀会では、各地区の老人クラブ女性部の協力による「おばあちゃんの味」のオードブルや、商工会婦人部による会津地鶏料理、宮下そばの会によるそばなどが振る舞われました。またアトラクションでは宮下そばの会による「そば口上」と、いわき市四倉の子どもたちによる「じゃんがら念仏踊り」が披露され、会場を盛り上げました。



4



3